

12月

新着本の紹介



予約の受付は、配架する**12月1日、午後1時**からです。

青字は児童書

書名	著者名	内容
極夜行	角幡 唯介	暗闇のなか、氷床を歩き続け3カ月ぶりに太陽を見た時、人は何を思うのか。太陽が昇らない冬の北極を、一頭の犬とともに命懸けで体感した探検家がつづる冒険ノンフィクション。 Yahoo!ニュース 本屋大賞 「ノンフィクション本大賞」第一回受賞作品
フーガはユーガ	伊坂 幸太郎	仙台市内のファミレスで、常盤優我は語り出した。双子の弟・風我のこと、決して幸せでなかった子供時代のこと、そして、彼ら兄弟だけの特別な「アレ」のことを…。不思議で、切ない、長編小説。
熱帯	森見 登美彦	世紀の奇書『熱帯』に惹かれ、秘密を解き明かさんと集まった“学団”によるソウダイなる追跡劇。世界の中心に横たわる謎、その正体は——？読み出したら止まらない、ロマン溢れる冒険譚。
こちら横浜市港湾局みなと振興課です	真保 裕一	山下公園前に浮かぶ氷川丸や、象の鼻パーク、コスモワールドの観覧車、外国人居留地——ヨコハマの歴史的名所に、隠された謎を解き明かせ！ミステリーの名手・真保裕一の最新刊は、港町・横浜ならではの、出会いと別れの物語。
愉楽にて	林 真理子	東京・京都・シンガポールを舞台に、家柄にも資産にも恵まれた50代の男たちが、甘美な情事を重ねていく、その果てに—— 日経朝刊連載時から話題沸騰！ 絢爛たる贅沢な官能美の世界を描く傑作長編
針と糸	小川 糸	ベルリンで学んだゆとりある生活の知恵と工夫。母親の死で受け入れた辛い過去・・・木の葉のように気ままに、生きることが心から楽しくなるエッセー集。
日日是好日「お茶」が教えてくれた15のしあわせ	森下 典子	お茶を習い始めて二十五年。就職につまずき、いつも不安で自分の居場所を探し続けた日々。失恋、父の死という悲しみのなかで、気がつけば、そばに「お茶」があった。がんじがらめの決まりごとの向こうに、やがて見えてきた自由。「ここにいるだけでよい」という心の安息。雨が匂う、雨の一粒一粒が聴こえる…季節を五感で味わう飲びとともに、「いま、生きている！」その感動を鮮やかに綴る。

ラストレター	岩井 俊二	君にまだずっと恋してるって言ったら信じますか？ 亡くなった姉の未咲の代わりに同窓会に出た裕里は、初恋相手の鏡史郎と再会して…。2つの世代の恋愛を描く。2019年公開映画の原作小説。
いのち	瀬戸内 寂聴	ガンと心臓の病に襲われ、痛切な老いに直面した私。脳裏に蘇るのは、70年近い作家人生で出会った男たちと、筆を競った友の死に様だった。小説への愛と修羅を生きた女の鮮烈な〈いのち〉を描く。
野菜のおいしい冷凍・解凍	鈴木 徹 島本 美由紀	新鮮なうちに野菜をサッと冷凍しておいて、時短・節約・作りおき・食品ロス回避をカンタンに！栄養価アップのテクニック満載！
それしかないわけないでしょう	ヨシタケ シンスケ	大人になったときに未来に待っているのは、大変なことばかり。おにいちゃんはその言うけど、それって本当!? それしかないわけないでしょう! 考え方ひとつで楽しい未来がたくさん見えてくるはず。未来に不安を抱えるすべての人に読んでほしい、ヨシタケ式「かんがえる絵本」登場!
おどりたいの	豊福 まきこ	森のはずれでバレエに出会った、まっ白な子うさぎ。一目で優雅な世界に引き込まれたうさぎは、勇気をだして扉をたたきます。先生は優しく迎えてくれて、やがて…。知らない世界に飛び込む勇気を、後押ししてくれる絵本。

※NHKテレビテキスト

「きょうの料理」「すてきにハンドメイド」「きょうの健康」も貸し出ししています。